

愛称：みらいストーリー
人生100年応援ファンド
(資産成長コース)

マンスリーレポート

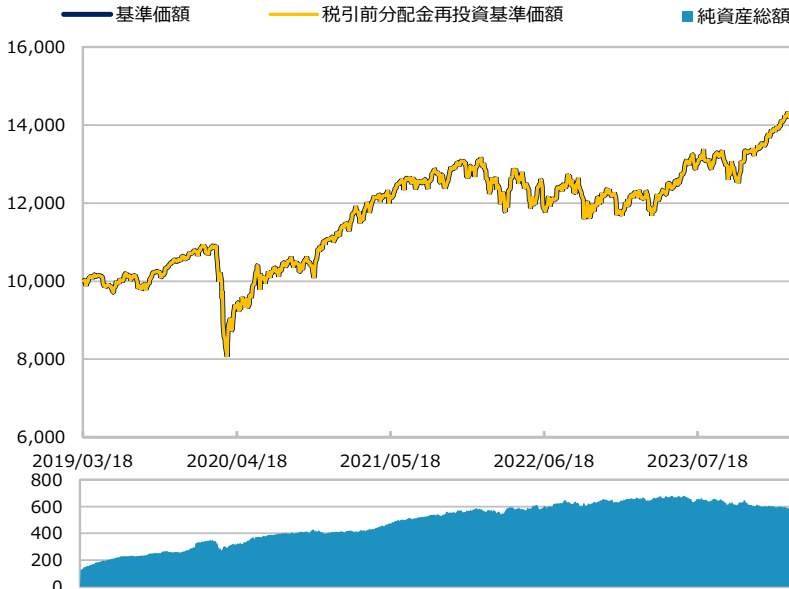
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年03月29日

ファンド設定日：2019年03月19日

日経新聞掲載名：みらい資産成

基準価額・純資産総額の推移 (円・百万円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	14,617	+397
純資産総額 (百万円)	599	+3

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/02/29	2.8
3 カ月	2023/12/29	8.1
6 カ月	2023/09/29	12.8
1 年	2023/03/31	21.7
3 年	2021/03/31	21.7
設定来	2019/03/19	46.2

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第6期	2022/03/15	0
第7期	2022/09/15	0
第8期	2023/03/15	0
第9期	2023/09/15	0
第10期	2024/03/15	0
設定来累計		0

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	98.7	-0.6
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	1.3	+0.6
合計	100.0	0.0

- ※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド (アキュムレーティング・クラス、円建て)」です。
- ※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザー・ファンド」です。

基準価額の変動要因 (円)

	寄与額
国内株式	+102
外国株式	+227
外国債券	+27
リート	+52
分配金	0
その他	-11
合計	+397

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。
- ※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：みらいストーリー
人生100年応援ファンド
(ちょっぴり受取コース)

マンスリーレポート

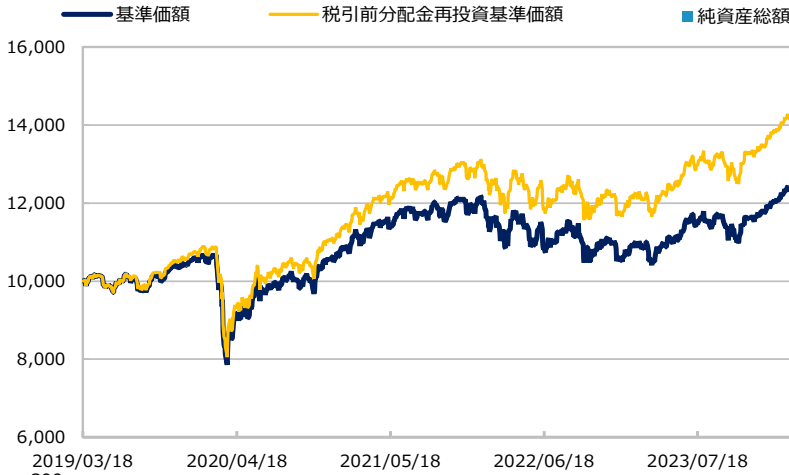
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年03月29日

ファンド設定日：2019年03月19日

日経新聞掲載名：みらいちよ

基準価額・純資産総額の推移 (円・百万円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	12,618	+283
純資産総額 (百万円)	186	-7

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/02/29	2.8
3 カ月	2023/12/29	8.1
6 カ月	2023/09/29	12.7
1 年	2023/03/31	21.5
3 年	2021/03/31	21.6
設定来	2019/03/19	45.7

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第26期	2023/07/18	57
第27期	2023/09/15	58
第28期	2023/11/15	57
第29期	2024/01/15	59
第30期	2024/03/15	61
設定来累計		1,571

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	98.7	-0.2
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	1.3	+0.2
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド (ディストリビューティング・クラス、円建て)」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因 (円)

	寄与額
国内株式	+88
外国株式	+195
外国債券	+23
リート	+45
分配金	-61
その他	-6
合計	+283

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：みらいストーリー
人生100年応援ファンド
(おもいきり受取コース)

マンスリーレポート

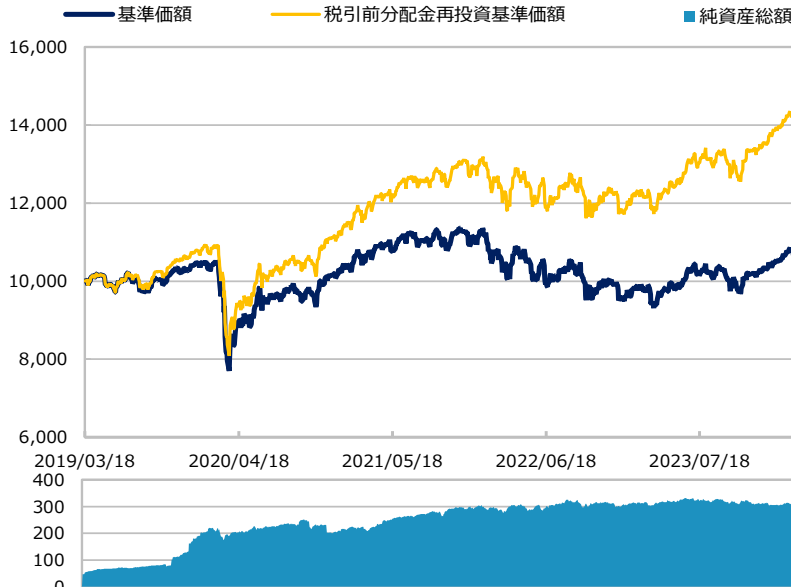
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2024年03月29日

ファンド設定日：2019年03月19日

日経新聞掲載名：みらいおmoi

基準価額・純資産総額の推移 (円・百万円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	10,952	+191
純資産総額 (百万円)	312	+1

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/02/29	2.8
3 カ月	2023/12/29	8.1
6 カ月	2023/09/29	12.7
1 年	2023/03/31	21.5
3 年	2021/03/31	21.6
設定来	2019/03/19	46.4

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第26期	2023/07/18	102
第27期	2023/09/15	103
第28期	2023/11/15	101
第29期	2024/01/15	104
第30期	2024/03/15	107
設定来累計		2,952

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	98.7	-0.1
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	1.3	+0.1
合計	100.0	0.0

- ※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド (デキュムレーション・クラス、円建て)」です。
- ※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザー・ファンド」です。

基準価額の変動要因 (円)

	寄与額
国内株式	+77
外国株式	+171
外国債券	+20
リート	+39
分配金	-107
その他	-8
合計	+191

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。
- ※ ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



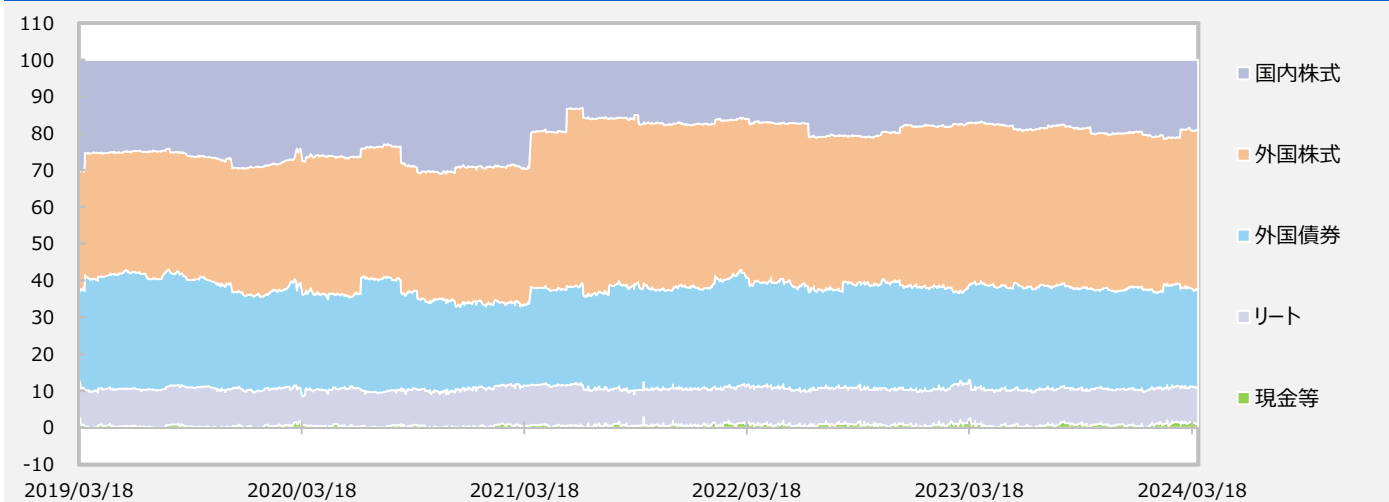
人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率の推移 (%)



資産構成比率 (%)

組入ETFの騰落率 (%)

資産構成比率 (%)	当月末 前月比		組入ETFの騰落率 (%)				
	当月末	前月比	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年
国内株式	18.9	+0.0	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア TOPIX ETF	18.9	+0.0	3.8	17.6	18.6	41.7	49.3
i シェアーズ MSCI 日本株最小分散ETF	0.0	0.0	2.8	13.1	13.0	35.8	41.8
外国株式	43.2	-0.1	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア MSCI 先進国株 (除く日本) ETF	34.7	-0.1	4.1	15.9	23.5	45.2	79.8
i シェアーズ・コア MSCI 新興国株ETF	8.6	-0.0	1.6	9.3	11.5	24.4	19.2
外国債券	27.1	+0.0	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア 米国債7-10年ETF (為替ヘッジあり)	12.9	+0.0	0.9	-3.4	2.1	-6.8	-20.7
i シェアーズ 米ドル建てハイイールド社債ETF (為替ヘッジあり)	0.7	-0.0	1.0	-0.4	5.8	4.5	-7.1
i シェアーズ 米ドル建て投資適格社債ETF (為替ヘッジあり)	13.6	+0.0	1.2	-2.8	5.6	-1.8	-18.0
リート	9.9	+0.0	-	-	-	-	-
i シェアーズ・コア リートETF	5.1	+0.1	5.2	1.5	0.1	5.0	0.0
i シェアーズ 米国リートETF	4.8	-0.1	3.1	5.0	17.5	28.9	50.8
現金等	0.9	+0.0	-	-	-	-	-
合計	100.0	0.0	-	-	-	-	-

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

3月、底堅い米国経済指標やFOMC（米連邦公開市場委員会）が公表した政策金利見通し、また、欧州では、ECB（欧州中央銀行）による利下げ期待や景況感の改善などが好感され、先進国株式市場は上昇基調を維持しました。米国テクノロジー関連銘柄群の上昇が一段落する一方で、金融や素材セクターなどの上昇が見られました。新興国株式も市場全体のリスク許容度の高まりを受け、前月末比で上昇しました。債券市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長のハト派（景気を重視する立場）発言や今後の政策金利の見通しを受け、利下げ期待が再度広がり、前月末比で長期ゾーンを中心に金利が低下（価格は上昇）しました。社債については、リスク許容度の上昇を受け、投資適格債券、ハイイールド債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は前月末比で縮小しました。

<運用経過>

年率10%程度のリスク量を目標に、各国指数に連動する債券、株式といった伝統的資産に、投資適格社債、ハイイールド社債、新興国株式、内外REIT（不動産投資信託）を加え、また、円に対する外貨リスクも考慮し、ポートフォリオ全体のリスク分散を図り、長期に安定したパフォーマンスを提供することを目標として組み入れています。組み入れたETF（上場投資信託）は、いずれもグローバルな市場に分散投資を行う目的に適したETFを選定しています。

引き続き、株式のウェイトをやや高めで維持した一方、債券のウェイトをやや抑制気味としました。株式においては、先進国や日本株式を中心として保有した一方、新興国株式も一定の資産配分を維持しました。リートに関しては、利回り追求の動きを意識して資産配分を維持しています。

<市場見通しと今後の運用方針>

今後、良好な経済指標やインフレ率の鈍化を示唆する環境下では、株式市場は堅調に推移すると考えられるものの、ボラティリティ（価格変動性）の高い展開が継続すると想定します。

新興国については、市場のリスク許容度が上昇する局面では底堅く推移する一方、中国のマクロ経済および中央政府による景気刺激策の動きが不透明感を高めると見込まれます。

債券市場については、主要中央銀行における金融引き締め懸念が後退し、金利上昇圧力が弱まったと考えるものの、慎重に金利リスクの調整を行う方針です。

社債市場は、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は相対的に安定的に推移するとみられますが、リスクオフ（リ

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・エンハスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

スク回避) 局面においてはハイイールド債券などのリスク資産が売られやすいため、動向を注視していきます。ポートフォリオでは、実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション（投資価値評価）等に留意しつつ、中長期的な目標リターンを獲得にむけて慎重なリスク量の管理を行いながらリバランス（投資配分比率の調整）を実施していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

ファンドの特色

- 退職世代（年金世代）を含めた幅広い世代の様々な資産活用ニーズに対応します。
資産成長と資金払出しの割合の違いによる3つのコースからご選択いただけます。
 - 投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。
 - 中長期的な目標リターンとして短期金利相当分+年3%程度※を目指して資産配分を行います。※目標リターン（短期金利相当分+年3%程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。
※目標リターンに用いる短期金利は、2023年9月末現在、1ヵ月TONA（複利）を基に算出するものを指しますが、市場環境に応じて類似の指標を用いることがあるほか、予告なく変更する場合があります。
※各コースの信託報酬および各コースが投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後のものです。
 - （資産成長コース）は、年2回（原則として毎年3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。
 - （ちょっぴり受取コース）（おもいきり受取コース）は、年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。
（ちょっぴり受取コース）は、目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出し）を行うことを目指します。（おもいきり受取コース）は、目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出し）を行うことを目指します。※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 実質的な運用は、運用資産残高で世界最大級の運用会社であるブラックロック*が行います。
 - 投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。
*ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドを含むブラックロック・グループを指します。
 - 外国投資信託は、主として上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。
 - 各資産への投資割合は、各資産についてブラックロックが推計する中長期的に期待される収益率およびリスク等を基に最適化を行い、変動リスク水準があらかじめ定めた目標程度となるように決定されます。また、変動リスク水準が目標から大きく外れる場合は、資産配分を機動的に見直す、あるいは現金比率を高める場合があります。※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

投資リスク

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 不動産投資信託（リート）に関するリスク

【リートの価格の下落は、基準価額の下落要因です】

リートの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値や賃貸収入、個々のリートの事業活動や財務状況等によっても価格が変動します。これらにより、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【部分的な為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は軽減されます】

ファンドは外貨建資産の一部について、原則として為替ヘッジ付きの外国投資信託を組み入れます。

為替ヘッジが行われていない部分については為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

為替ヘッジが行われている部分については為替変動の影響を受けますが、原則として対円で為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。対円で為替ヘッジ比率は、資産配分の調整に伴い変動します。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

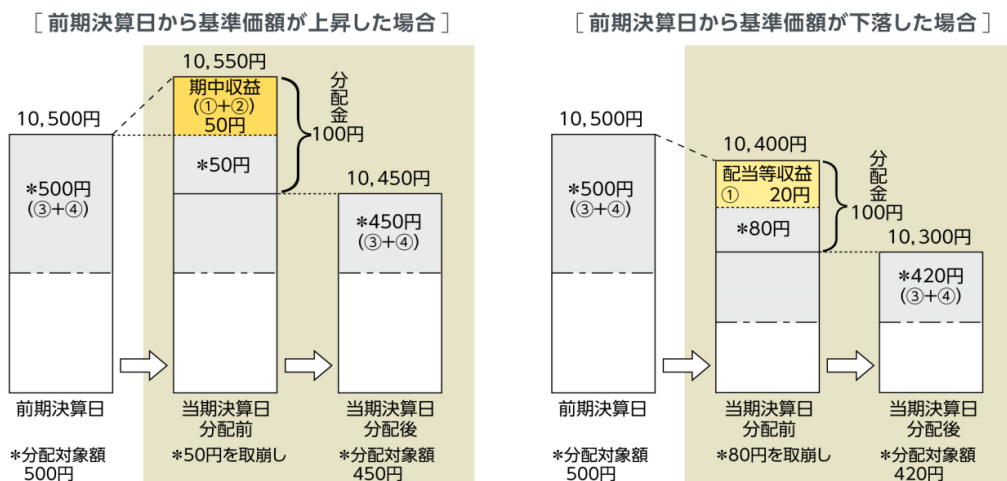
分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

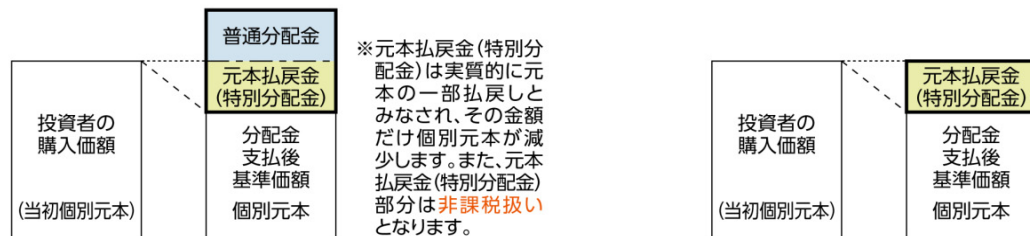


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

[分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合] [分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2019年3月19日設定）

繰上償還

- 各ファンドの基準価額（1万口当たり。支払済み分配金を加算しません。）が2,000円を下回った場合、短期金融商品等による安定運用に順次切換えを行い、基準価額が2,000円を下回った日の翌営業日から起算して3か月以内に繰上償還します。
- 各ファンドが投資対象とする外国投資信託が信託を終了する場合または外国投資信託の分配方針の変更により各ファンドの商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。

また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。

- 繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき
- 各ファンドの残存口数が20億口を下回るようになったとき
- その他やむを得ない事情が発生したとき

決算日

（資産成長コース）

毎年3月、9月の15日（休業日の場合は翌営業日）

（ちょっぴり受取コース）（おもいきり受取コース）

毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

（資産成長コース）

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

（ちょっぴり受取コース）（おもいきり受取コース）

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

<共通>

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に限りNISAの適用対象となります。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

お申込みメモ

お申込不可日

ありません。

※お申込不可日は投資対象とする外国投資信託が組み入れるETFの変更等に伴い、変更される場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**2.20% (税抜き2.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用 (信託報酬)
ファンドの純資産総額に**年1.133% (税抜き1.03%)**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、**最大年1.971% (税抜き1.81%)**となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用報酬等は、料率が把握できる費用の合計であり、上記のほか、別途、受託報酬等がかかります。そのため、実質的な負担はこれらの報酬を加えたものとなります。
また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
上記の料率は、2023年9月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ NISA（少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）をご利用になる場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。また、販売会社での専用口座の開設等、一定の要件があります。
2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。なお、ジュニアNISAで新規の購入ができなくなります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 上記は、2023年9月末現在のものです。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 【受付時間】 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社S M B C信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

人生100年応援ファンド (資産成長コース) / (ちょっぴり受取コース) / (おもいきり受取コース)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 資産複合

作成基準日：2024年03月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※1
株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2 ※1

備考欄について

※1：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社 ※2：ネット専用

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

